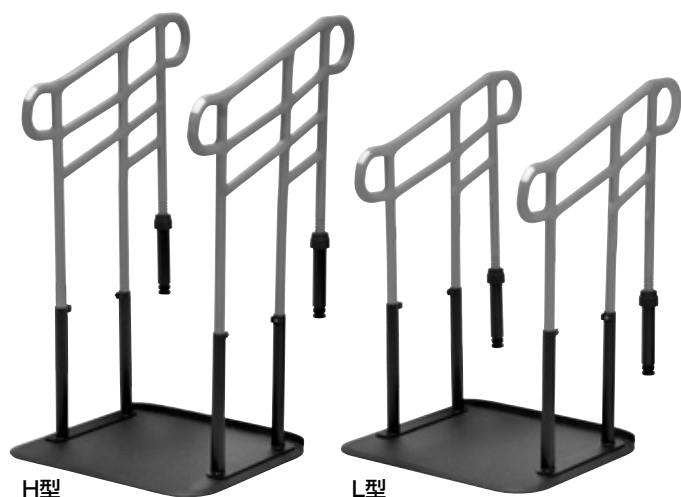
生活機能支援手すり **ルーツ** あがりかまちタイプ
（歩行支援）

取扱説明書

目　次

安全にお使いいただくために

この度は当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後もいつでも見られる場所に大切に保管してください。
利用者様の健康状態や体調が変化した場合には医師や看護師などの専門員に相談した上でご使用ください。
利用者様の身体状態、設置場所を十分確認し、安全であることを確認してからご使用ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

①利用者様や他の方への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。
取扱説明書に表示されている記号や用語は、表示内容を無視し誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のような表示区分であらわしています。

⚠警告：死亡または重傷などを負う可能性を意味します。

⚠注意：障害を負うまたは物的損害を発生させる可能性を意味します。

注意：本製品の故障を防止するための注意事項や、より満足に使用していただくためのアドバイスを意味します。

②お守りいただく内容の種類を次の表示区分であらわしています。

⊘：してはいけない「禁止」を意味します。

①：必ず実行していただく「強制」を意味します。

注意事項

ルーツあがりかまちタイプは置くだけで使える安心感、安全性を向上した床置き型手すりです。
下記内容を必ず守ってご使用ください。

警告

①ルーツは単独で使用する製品です。絶対に他社製品と組み合わせたり、連結して使用しないでください。
手すりが変形･破損したり不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。

②製品に異常がある場合は、使用しないでください。
使用中不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。

③手すりに座ったり、ぶら下がったり、踏み台にしないでください。
通常の使用状態以上の力や衝撃が加わると、変形したり破損するおそれがあります。また転倒し、ケガをするおそれがあります。

④手すりを横から引っ張ったり体をぶつけたりしないでください。
手すりが不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。

⑤利用者様の動線を十分に検討しないまま設置しないでください。
本来の性能を発揮することができません。利用者様の動線に合わせて最適な位置に設置してください。

⑥手すりの高さや位置を利用者様の身体状態に合わせないまま設置しないでください。
手すりの高さや位置は利用者様の身体状態に合わせ、最適な設定と設置を行ってください。
身体状態に合わない無理な高さや位置で使用すると体を痛める原因や、転倒しケガをするおそれがあります。
無理な姿勢で使用すると過大な負荷が発生し、転倒するおそれがあります。

⑦壁やあがりかまちとのすき間を確認しないまま設置しないでください。
はさみ込みによる事故やケガにつながるおそれがあります。（P3参照）

⑧屋外や風呂場など、風雨にさらされたり水気のある場所では使用しないでください。
ルーツは屋内専用品です。屋外や風呂場など水気の多い場所では、床面が滑りやすくなり手すりが固定できず、ずれや転倒により
ケガをするおそれがあります。

⑨車いすからの立ち上がりには使用しないでください。
転倒し、ケガをするおそれがあります。

⑩ベースフレームが濡れたり、結露した状態で使用しないでください。
ベースフレームやその周辺にカビを発生させる原因になります。必ずふき取った状態で使用してください。

⑪手すりの固定ボルトや高さ調整キャップなどのしめ具合を確認しないまま使用しないでください。
手すりの固定ボルトや高さ調整キャップなどは確実にしめてご使用ください。
点検で、固定ボルトやキャップなどに異常が見られる場合は、使用せず部品を交換してください。

⑫ステップ台やベースフレームが雪や泥で汚れたり、水などで濡れたままにしないでください。
足元が滑って転倒し、ケガをするおそれがあります。汚れや水分は速やかに取り除いてください。

⑬段差のある床、滑りやすい床の上では使用しないでください。
ベースフレームごとずれたり、不安定になり転倒し、ケガをするおそれがあります。

⑭手すりの間に腕などを入れて使用しないでください。
滑ったり引っ掛かったりした場合、腕に無理な力がかかり、ケガをするおそれがあります。

注意

①蓄光プレートは2時間程度光ります。
非常時の薄暗いところでは手すり位置の目安になりますが、ベースフレームにつまずかないようご注意ください。

②ベースフレーム表面で滑らないように十分ご注意ください。
濡れた足で使用するとベースフレームで滑るおそれがあります。

③介護者など付き添いが必要な方が使用する場合は十分ご注意ください。
介護者など付き添いが必要な方が使用する場合、必ず付き添いの方と一緒にご使用ください。

④床面とベースフレームとの段差でつまずかないように十分ご注意ください。
床面とベースフレームには段差があります。段差でつまずいて転倒しないように十分ご注意ください。
また、すり足で歩行される方が使用する場合は、十分ご注意ください。

注意事項

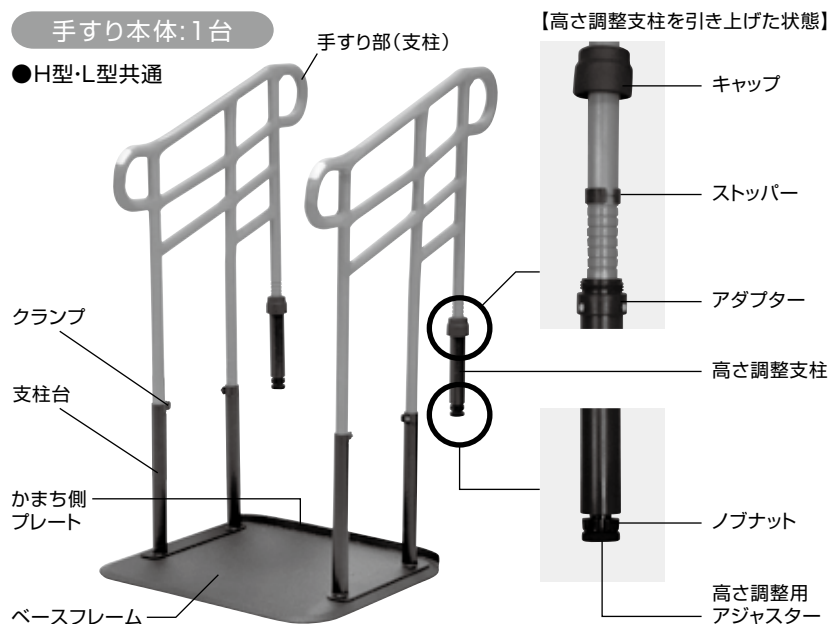
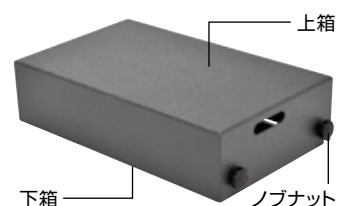
⑤火気を近付けたり、ストーブ、ファンヒーターなどのそばで使用しないでください。
火気やストーブ、ファンヒーターの熱などにより製品を破損したり、火災につながるおそれがあります。

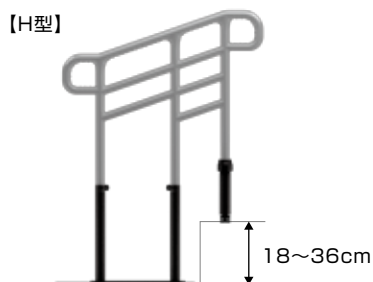
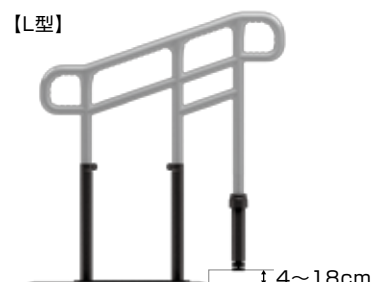
⑥お客様による分解・改造は行わないでください。
変形・破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。
不具合が生じた場合は必ずお求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部までご相談ください。

⑦本来の目的以外には使用しないでください。
本来の目的以外に使用すると製品が破損したりして思わぬケガをするおそれがあります。

⑧有機溶剤やスプレータイプの殺虫剤などを直接噴射しないでください。
お手入れは本取扱説明書のお手入れ方法以外のやり方では行わないようにしてください。
消毒する場合、柔らかい布などに消毒剤を付けてから清拭し、必ず仕上げに水拭きしてください。
有機溶剤などお手入れに適さない物は、使用しないでください。

各部名称および梱包内容

記載部品が全て揃っているか、また破損・変形などしていないか確認してください。
万が一、部品の不足・破損があった場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。

あがりかまちの適用最大段差

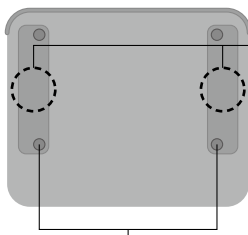
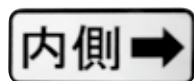
あがりかまちの適用最大段差は、
H型は18～36cm、
L型は4～18cmです。

組み立ておよび設置方法

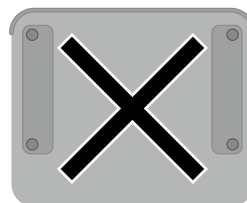
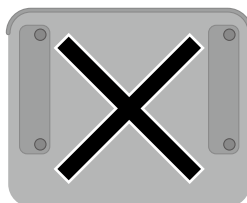
あがりかまちタイプは分解した状態からの組み立てとなります。重量がありますので、ケガをしないよう以下の手順で組み立ててください。※M5サイズの六角レンチが必要です。工具は付属していません。

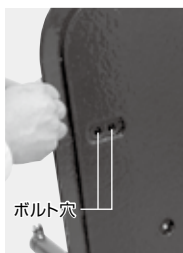
⚠ **警告**　組み立ては、設置する平らな場所で行ってください。

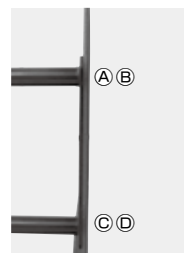
1　ベースフレームの組み立て

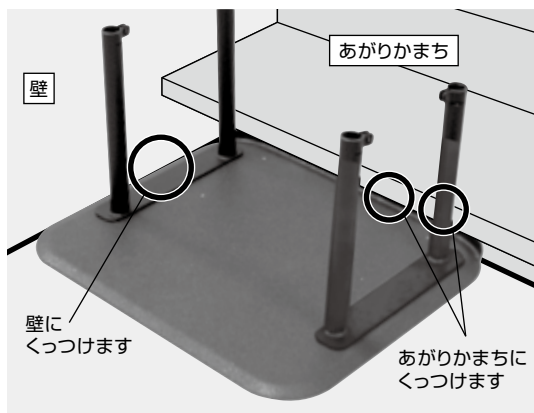
手すり2本タイプの場合は、支柱台が左右対称となるように取り付けます。

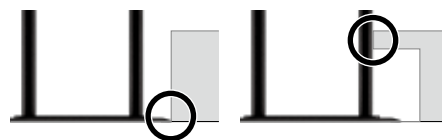
【支柱台の正しい向き】

支柱台の裏にシールが貼ってありますので、必ず矢印の方向が内側に向くように設置してください。

支柱が内側になるように組み立ててください。

【支柱台の間違った向き】

①ベースフレームを立てた状態で、表面から支柱台をボルト穴に合わせます。

※支柱台には向きがありますので、間違えないよう取り付けてください。（P3参照）

②ベースフレーム底面から固定ボルトとワッシャを通し、仮じめします。

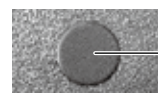
※分解するとワッシャがベースフレーム底面に貼り付いている場合があります。

③残りのボルトを仮じめし、Ⓐ→Ⓒ→Ⓑ→Ⓓの順に六角レンチ（M5サイズ）で増しじめします。しめ付けトルクは6.4N·mです。

2　ベースフレームの設置

安全にご使用いただくために、ベースフレームを玄関のあがりかまちと壁の角に合わせて設置します。

※あがりかまちの上部が張り出している場合は、支柱が当たるように設置します。

⚠ **警告**

①壁やあがりかまちとのすき間を確認しないまま設置しないでください。
はさみ込みによる事故やケガにつながるおそれがあります。

②壁とのすき間は、12cm以下または25cm以上離した状態で設置してください。

⚠ **注意**　両手すりから片手すりに変更して使用する場合、別売りの目隠しキャップを取り付け穴にはめ込み、塞いでください。

別売りの目隠しキャップ

3　手すりの設置

①手すりのかまち側の高さ調整支柱は、キャップを開け、あらかじめ一番高い位置にストッパーをセットしておきます。

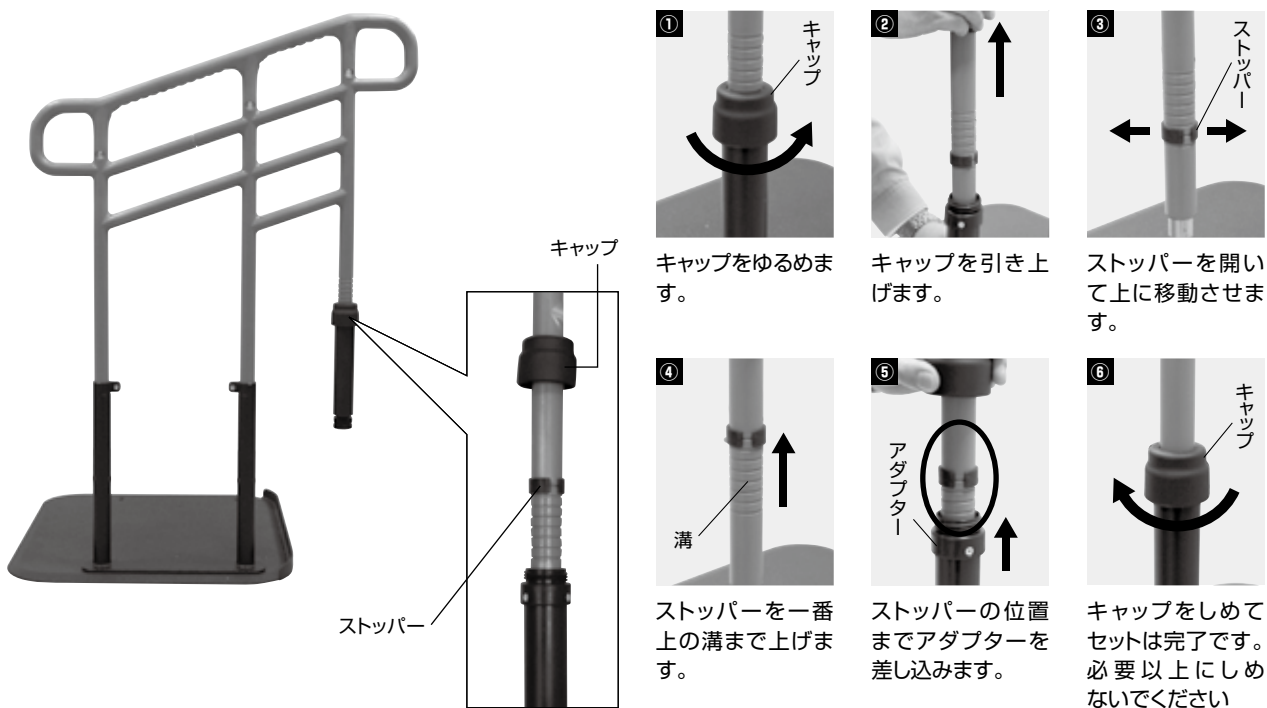
キャップをゆるめます。

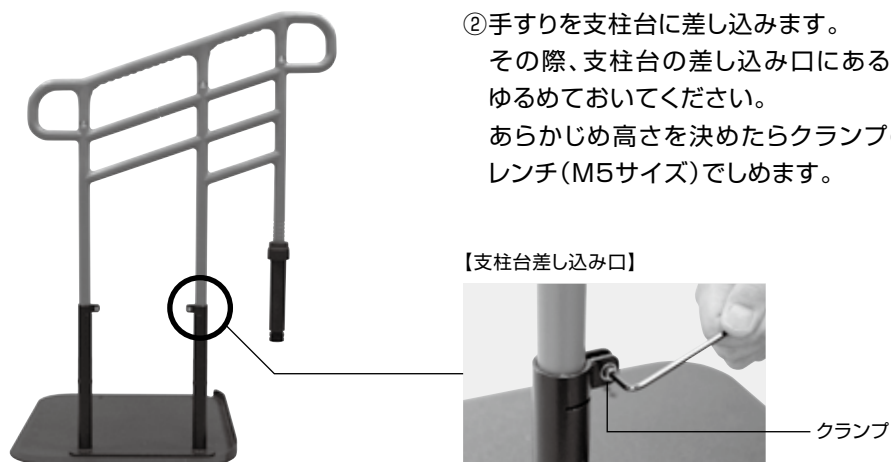
キャップを引き上げます。

ストッパーを開いて上に移動させます。

ストッパーを一番上の溝まで上げます。

ストッパーの位置までアダプターを差し込みます。

キャップをしめてセットは完了です。必要以上にしめないでください

②手すりを支柱台に差し込みます。
その際、支柱台の差し込み口にあるクランプのクランプ固定ボルトはゆるめておいてください。
あらかじめ高さを決めたらクランプのクランプ固定ボルトを軽く六角レンチ（M5サイズ）でしめます。

【支柱台差し込み口】

フィッティングおよび高さ調整方法

1　フィッティング方法

ご使用方法に合わせて最適な高さを設定します。

利用者様が、あがりかまちを使用して段差を降りる際、姿勢が前かがみにならない高さに手すりを設定します。

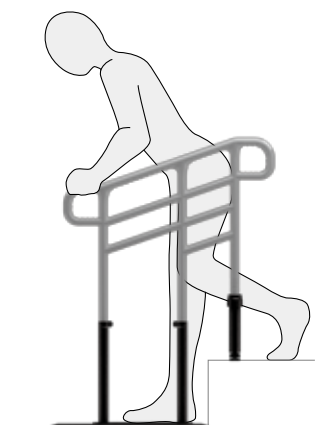
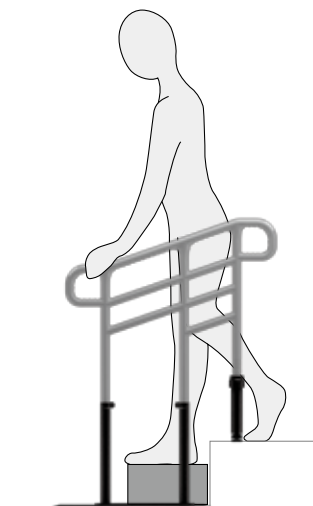
※床側の手すりの高さ75～80㎝付近が目安です。

注意　利用者様によっては両手で持つ、または体を預けるように持つ場合があります。身体状態に合わせた最適な高さを設定してください。

警告

①あがりかまちの上ではしっかりと体を支えられるかどうか、床面では靴などを履く際に体を支えられるかどうかを確認してください。

②身体状態が良くない場合、危険ですので使用を控えてください。

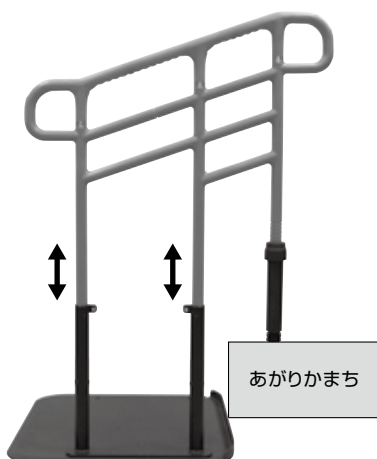
【あがりかまちが高い場合】

※前かがみの姿勢になると転倒するおそれがあります。

※ステップ台で段差を整えると安全です。

一般的に安全に昇降できる段差は、利用者様の身体状態にもよりますが、6～18cmの範囲と言われています。段差が高すぎて、手すりの高さを調整しても姿勢が前かがみになる場合、転倒するおそれがありますので、オプションのステップ台を併用してください。

警告

①ステップ台は弊社の専用品以外使用しないでください。

②ステップ台は必ず付属のステップ台用ノブナットで固定してください。

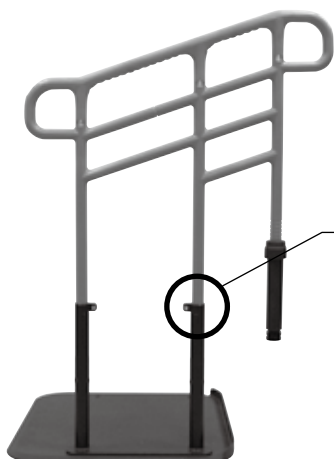
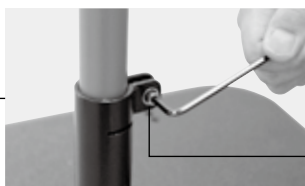
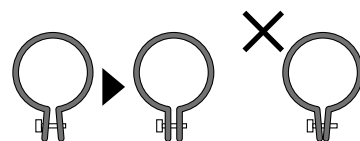
2　手すりの高さ調整

フィッティング結果に基づいて手すりの高さを調整します。

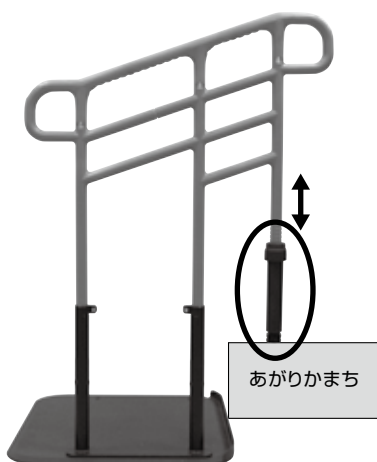
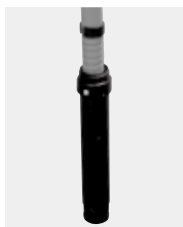
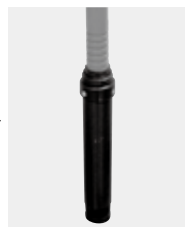
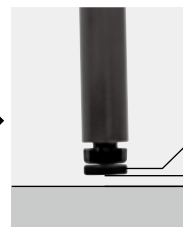
①手すりの高さを利用者様の最適な高さに設定します。

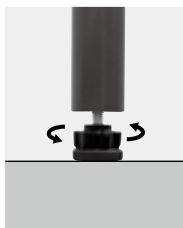
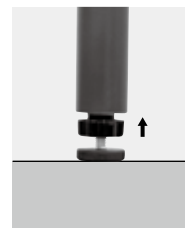
※詳しくは「1 フィッティング方法」を参照してください。

警告　手すりのマーキングがクランプより上に出ない高さに設定してください。
L型で高さが不足する場合は、H型の手すりを使用してください。

注意　あがりかまちの適用最大段差は**H型は18～36cm、L型は4～18cm**です。

フィッティングおよび高さ調整方法

②クランプにあるクランプ固定用ボルトを、六角レンチ（M5サイズ）でしめて
手すりを固定します。しめ付けトルクは5N･mで行ってください。

クランプが平行になるまでしめ付けてください。平行より内側まで曲がらないようしめすぎに注意してください。

> ⚠ **警告**　クランプ固定用ボルトのしめ付けは、必ずM5サイズの六角レンチを使用してください。

③高さ調整支柱の底に付いている高さ調整用アジャスターを一番上まで
あげ、パイプの高さをかまちに接触する手前の高さにセットします。
高さ調整用アジャスターを右に回すと上がります。

キャップを上げ、高さ調整支柱を一度かまちに接触させます。

ストッパーを高さ調整支柱に隠れるくらいまで下げ、キャップをしめます。

キャップをしめるとあがりかまちと10mm未満の空きができます。
※10mm以上の場合は、キャップを開き、ストッパーを下げてください。

④次に高さ調整用アジャスターをかまちに接触させます。
高さ調整用アジャスターをノブナットごと左に回すと下がります。

接地面に着いた状態から真上から見て時計回りに半回転させ、安定させます。

ノブナットのみ上にしめ付け、アジャスターを固定します。

【完成図】

※ステップ台はオプションです。

取り付け方法

※ステップ台がないH型にステップ台を追加する場合。

1 ステップ台下箱の取り付け

※L型にはステップ台は使用しません。

	ルーツあがりかまちタイプ H型	
	両 手 す り	片 手 す り
品　番	MNTPKH2BR	MNTPKH1BR

ベースフレームの黒丸の部分の
茶色のとめネジを取り外します。

①ベースフレームに4ヶ所ある茶色のとめネジを取り外します。

②取り外したネジはステップ台の下箱のステップ台用ノブナットの使用しないネジ穴に内側から取り付けて保管します。

③ネジ穴にステップ台の下箱を付属のステップ台用ノブナットで取り付けます。

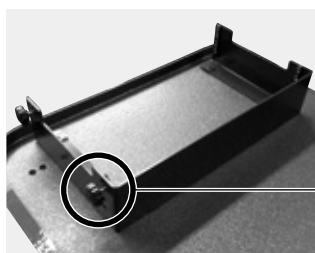
④ステップ台下箱をベースフレームに設置します。ステップ台下箱はコの字の開いた方をあがりかまちに向けます。
付属のステップ台用ノブナットで4ヶ所固定してください。

⚠ 警告

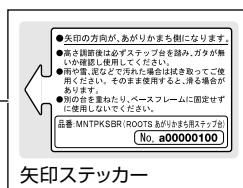
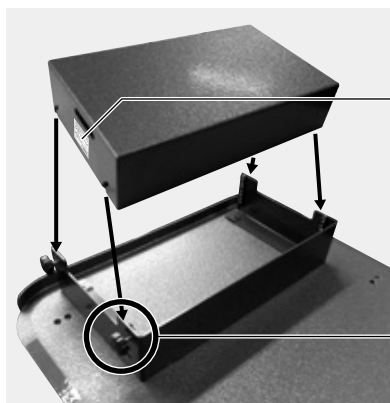
①ステップ台下箱は必ずベースフレームに付属のステップ台用ノブナットで固定してください。
②付属品以外のノブナットやネジなどは使用しないでください。底面から飛び出して、床にキズが付いたり、穴があいたりするおそれがあります。
③ステップ台を使用しない場合は、ネジ穴に必ずとめネジを取り付けてください。小石やホコリが詰まり、ステップ台が設置できなくなるおそれがあります。

⚠ 注意

とめネジを紛失しないよう、必ず下箱のノブナットの使用しないネジ穴に内側から取り付けて保管してください。

2 ステップ台上箱の取り付け

①ステップ台下箱の側面にあるネジ穴に、上箱をかけるステップ台用ノブナットを取り付けます。（左右4ヶ所）

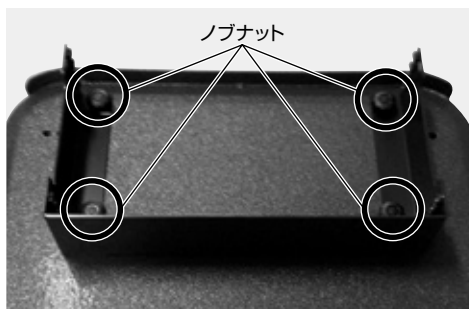
ステップ台の取り付け・取り外し方法

※ステップ台はオプションです。

②上箱にある矢印ステッカーがあがりかまちに対して左側にくるよう被せてください。ステップ台用ノブナットをすべらせるように溝に沿って取り付けます。

③左右4ヶ所のステップ台用ノブナットをしめ付け固定します。

取り外し方法 ※ステップ台が付いているH型のステップ台を取り外す場合。

●ステップ台の取り外し

	ルーツあがりかまちタイプ H型（ステップ台付き）	
	両 手 す り	片 手 す り
品　　番	MNTPKH2SBR	MNTPKH1SBR

①ステップ台の上箱を外します。

②下箱のステップ台用ノブナットを外し、下箱を取り外します。

③ステップ台用ノブナットは下箱のネジ穴の下側から二番目に内側から取り付けて保管してください。（ステップ台用ノブナットの先が外側にとび出ないよう注意してください。）

③ネジ穴にオプションの茶色のとめネジを取り付けます。
（とめネジは専用の物をご使用ください。）

⚠ **注意**　ステップ台用ノブナットを紛失しないよう、必ず下箱の下側から二番目のネジ穴に内側から取り付けて保管してください。

●ルーツチェックシート

下記の点検項目を確認してください。
異常があった場合、お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部までご相談ください。

	点検項目	確認	
1	**壁やあがりかまちとのすき間の確認** ・あがりかまちとの間にすき間ができていませんか? ・壁とのすき間は、12cm以下または25cm以上になっていますか?	**YES** □	**NO** P3参照
2	**手すりの位置と高さの確認** ・手すりの位置と高さは利用者様に最適となっていますか?	**YES** □	**NO** P5参照
3	**手すりの確認** ・固定ボルトは確実にしまっていますか?	**YES** □	**NO** P4参照
4	**ベースフレームの確認** ・ベースフレームにゆがみやガタつきはありませんか? ・著しい塗装のはがれなどはありませんか?	**YES** □	**NO** P3参照
5	**ストッパーとアダプターの確認** ・ストッパーとアダプターにガタつきはありませんか?	**YES** □	**NO** P4参照
6	**手すりのキャップの確認** ・手すりのキャップは確実にしまっていますか?	**YES** □	**NO** P4参照
7	**アジャスターの確認** ・ノブナットがゆるんでいませんか?	**YES** □	**NO** P6参照
8	**クランプの確認** ・クランプ固定用ボルトがゆるんでいませんか?	**YES** □	**NO** P6参照
9	**ステップ台の確認** ・ステップ台用ノブナットがゆるんでいませんか? ・ステップ台の高さは利用者様に最適となっていますか?	**YES** □	**NO** P6参照

このようなときには

症　状	確　認	処　置
手すりに ガタつきがある	手すりのキャップは しまっていますか?	ストッパーの位置を確認し、キャップを確実に しめてください。(P4参照)
	手すりのアダプターに ガタつきはありませんか?	キャップを外し、アダプターのネジをしめて ください。(P4参照)
	固定ボルトはしまっていますか?	固定ボルトをしめてください。(P2参照)
	床に段差などがありませんか?	段差の無い平らな床でご使用ください。 (P3参照)
	アジャスターが浮いてませんか?	アジャスター上部のノブナットで高さを調整し、 アジャスターとあがりかまちを接触させてください。 (P6参照)
手すりの高さが 調整できない	ストッパーの位置を変えていますか? ※無段階の設定はできないので、キャップだけゆるめても高さは変わりません。	ストッパーの位置を変えることで8段階設定 (1cm毎)が可能です。(P4参照)
手すりが傾いたまま 戻らない	固定ボルトはしまっていますか?	固定ボルトをしめてください。(P3参照) 固定ボルトがしまっていても傾いている場合、過大な負荷が加わり、変形または破損した可能性があるので使用を中止し、お求めの販売店または㈱モルテン健康用品事業本部までご相談ください。

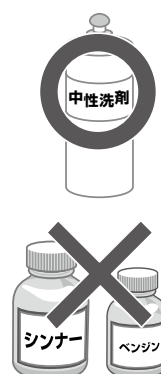
上記の処置で直らなかった場合、またはその他の症状の場合はお求めの販売店または
㈱モルテン 健康用品事業本部までご相談ください。

【お客様窓口】株式会社 モルテン 健康用品事業本部
TEL(082)842-9975

お手入れ方法

●ベースフレーム、手すり

消毒する場合、アルコール消毒剤などを柔らかい布に吹き付けてから清拭してください。
清拭する場合は、中性洗剤を水で薄め柔らかい布に浸し、よく絞ってから清拭してください。
仕上げに乾いた布で拭き取ってください。
使用前に手すりがすべらないか必ず確認して使用してください。

⃠ ツヤ出し剤などを塗布すると、滑って転倒するおそれがありますので、使用しないでください。
⃠ 次亜塩素酸を使用する場合、6%水溶液を100～200倍に希釈して清拭し、仕上げに水拭きしてください。
⃠ 有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）、殺虫剤、強酸性洗剤は使用しないでください。
⃠ オゾンガスは金属部分に影響を与えるため、使用しないでください。
⃠ 60℃以上の温度を加えないでください。
⃠ 金属ブラシ、ナイロンたわしなどは傷をつけるため、使用しないでください。
⃠ 高圧洗浄機や水洗いはしないでください。サビなど劣化させる恐れがあります。

補修方法

ベースフレームに軽微なキズが入った場合は以下のように対応する方法もあります。

●端の塗装が欠けた場合

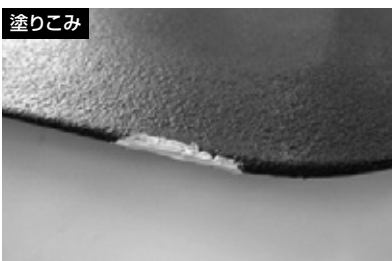
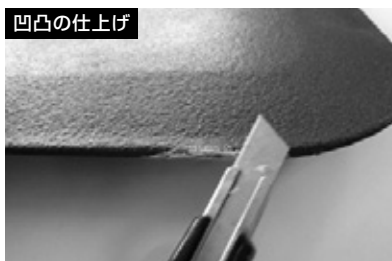
【セメダイン社】
●ハイクック

●ハイスーパー30

【コニシボンド社】
●Eセット

①市販の2液式エポキシ樹脂接着剤を混合しキズに塗布します。
（接着剤の取説を参照してください。）

※代表的な接着剤／セメダイン社:ハイクック、ハイスーパー30、コニシボンド社:Eセットなど

A剤／B剤を攪拌します

②2液式エポキシ樹脂接着剤をへらでかくはんします。

塗りこみ

③へらを使い欠けた部分に盛るように塗布します。

凹凸の仕上げ

④はみ出た部分をカッターナイフなどで整形します。

⑤専用の塗料を準備します。
品番:MNTPOY020

塗装

⑥軽く吹き付けます。
（吹きすぎないでください。）

完成

⑦1日程度乾燥させると使用できるようになります。

補修方法

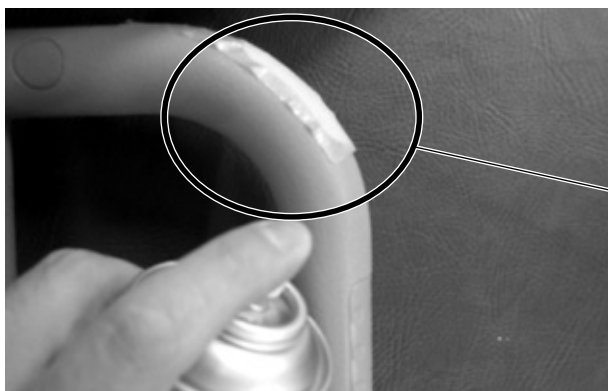
●端の塗装がはがれた場合

①塗装膜が開いている部分に瞬間接着剤を少量塗り、押さえます。

②専用スプレーを軽く吹き付けて塗装します。

ルーツ共通支柱部･ベース専用
補修スプレー
部品品番:MNTPOY020

手すり部に軽微な損傷があった場合は、下記の方法で修正することができます。

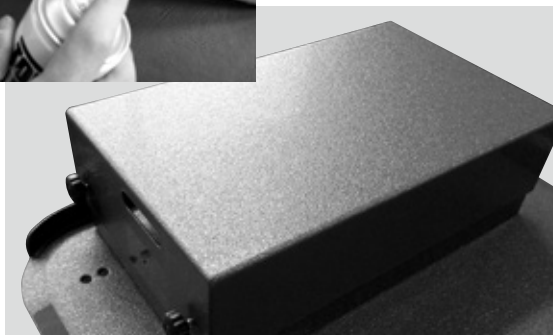
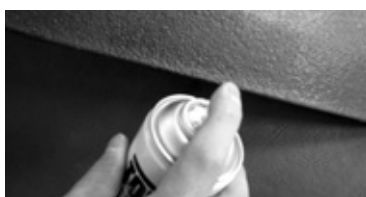
●手すり部修理方法（こすれキズの場合）

①メラミンスポンジ（「激落ちくん」など）でキズをこすり、目立たなくします。

②専用補修スプレーで塗装し、乾燥後メラミンスポンジで軽くこすり表面を仕上げます。

蓄光プレート部分はテープなどで覆い、
塗料が付かないように注意してください。

ルーツ共通手すり部専用補修スプレー
部品品番:MNTPOY010

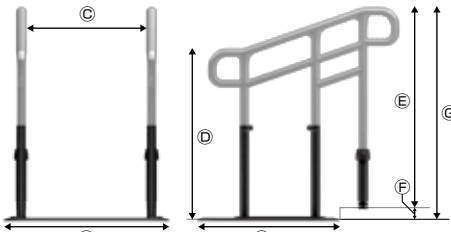
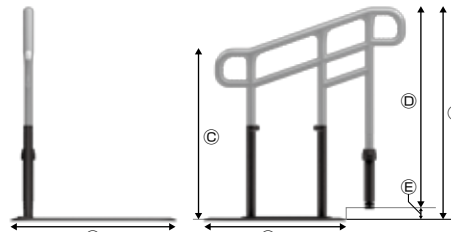
ステップ台に軽微な損傷があった場合は、下記の方法で修正することができます。

●ステップ台修理方法（こすれキズの場合）

①メラミンスポンジ（「激落ちくん」など）でキズをこすり、目立たなくします。

②専用補修スプレーで塗装し、乾燥後メラミンスポンジで軽くこすり表面を仕上げます。

蓄光プレート部分はテープなどで覆い、
塗料が付かないように注意してください。

ルーツ共通支柱部･ベース専用補修スプレー
部品品番:MNTPOY020

⚠ 注意

①専用の補修塗料以外の塗料を使用すると劣化するおそれがあります。
②スプレーは濃く吹きつけないでください。色むらやツヤのむらが発生します。
③手すりに深いキズが入っている場合やステップ台に変形がある場合は交換してください。

各部寸法および仕様

	ルーツあがりかまちタイプ H型	
	両 手 す り	片 手 す り
品　　番	MNTPKH2BR	MNTPKH1BR
かまち対応高さ	18～36cm（無段階調整）	
サ イ ズ	Ⓐ70cm Ⓑ60cm Ⓒ51cm Ⓓ78.5～103.5cm Ⓔ78～85cm（1cm毎8段階の高さ調整） Ⓕ18～36cm（無段階調整） Ⓖ96～121cm	Ⓐ70cm Ⓑ60cm Ⓒ78.5～103.5cm Ⓓ78～85cm（1cm毎8段階の高さ調整） Ⓔ18～36cm（無段階調整） Ⓕ96～121cm
ベースフレームの厚さ	13mm	
手すり部直径	トップグリップ（楕円）=4.0×3.1cm　ミドルグリップ（楕円）=3.1×2.8cm	
重　　量	42.2kg	32.8kg
使用者体重	120kg	

	ルーツあがりかまちタイプ H型（ステップ台付き）	
	両 手 す り	片 手 す り
品　　番	MNTPKH2SBR	MNTPKH1SBR
かまち対応高さ	18～36cm（無段階調整）	
サ イ ズ	Ⓐ70cm Ⓑ60cm Ⓒ51cm Ⓓ78.5～103.5cm Ⓔ78～85cm（1cm毎8段階の高さ調整） Ⓕ18～36cm（無段階調整） Ⓖ96～121cm Ⓗ12～18cm	Ⓐ70cm Ⓑ60cm Ⓒ78.5～103.5cm Ⓓ78～85cm（1cm毎8段階の高さ調整） Ⓔ18～36cm（無段階調整） Ⓕ96～121cm Ⓖ12～18cm
ベースフレームの厚さ	13mm	
手すり部直径	トップグリップ（楕円）=4.0×3.1cm　ミドルグリップ（楕円）=3.1×2.8cm	
重　　量	51.7kg	42.3kg
使用者体重	120kg	

各部寸法および仕様

	ルーツあがりかまちタイプ L型	
	両 手 す り	片 手 す り
品　　番	MNTPKL2BR	MNTPKL1BR
かまち対応高さ	4～18cm(無段階調整)	
サ　イ　ズ	Ⓐ70cm Ⓑ60cm Ⓒ51cm Ⓓ64.5~85.5cm Ⓔ78~85cm(1cm毎8段階の高さ調整) Ⓕ4~18cm(無段階調整) Ⓖ82~103cm	Ⓐ70cm Ⓑ60cm Ⓒ64.5~85.5cm Ⓓ78~85cm(1cm毎8段階の高さ調整) Ⓔ4~18cm(無段階調整) Ⓕ82~103cm
ベースフレームの厚さ	13mm	
手すり部直径	トップグリップ(楕円)=4.0×3.1cm　ミドルグリップ(楕円)=3.1×2.8cm	
重　　量	40.4kg	31.9kg
使用者体重	120kg	

●素材：ベースフレーム=スチール、手すり部=スチール+樹脂

株式会社 モルテン
健康用品事業本部
www.molten.co.jp/health
東京　札幌　仙台　名古屋　大阪　広島　福岡
製品他、各種お問い合せは
〒739-1794　広島市安佐北区口田南2-18-12
TEL.082-842-9975
FAX 0120-769-123
E-mail:health@molten.co.jp

2015.10